

令和元年度第2回農林水産消費安全技術センター契約監視委員会 審議概要

開催日	令和元年11月28日(木)
場所	さいたま新都心合同庁舎検査棟7階 大会議室
出席者	委員長：寺山 昌文 (寺山公認会計士事務所所長) 委員：大塚 嘉一 (菊地総合法律事務所所長) 委員：中野 隆史 (独立行政法人農林水産消費安全技術センター監事)
議題	(1) 令和元年度(第1及び第2四半期)の契約状況の点検・見直しについて ア 競争性のない随意契約の契約状況 イ 一者応札・一者応募の契約状況 (2) その他
対象期間	平成31年4月1日～令和元年9月30日
審議概要	<p>(1) 令和元年度(第1及び第2四半期)の契約状況の点検・見直しについて</p> <p>資料により担当者から説明があった後、各契約の妥当性や競争性の確保の状況を確認するとともに、一者応札・一者応募の改善方法の適切性に関する審議を行い、説明内容について承認した。</p> <p>主な質疑応答は以下のとおり。</p> <p>① 入札公告通知の手段として配信している入札情報メールマガジンの登録者数が年々増加傾向にあるとの説明を受けて、登録者と入札者との相関関係について説明を求めた。</p> <p>担当者から、登録者数の増加がどの程度入札者の拡大に寄与しているかを分析したことはないとのこと、今後、行いたいとの説明があった。</p> <p>② 競争性のない随意契約とされた「機械式駐車場修繕業務」に関して、競争性のない随意契約とした理由について説明を求めた。</p> <p>担当者から、当該修繕業務は駐車場の製造者でないと対応が難しいため、競争性のない随意契約としたとの説明があった。</p> <p>③ 一者応札・一者応募となった「コピー用紙購入契約(単価契約)」に関して、共同調達している法人数及び共同調達による成果について説明を求めた。</p> <p>担当者から、3法人で共同購入を行っており、事務は当法人が担当している。共同調達することにより、1法人単独で購入する場合よりも単価は下がっているとの説明があった。</p> <p>④ 一者応札・一者応募となった「令和元年度会計監査業務」の応募状況に</p>

ついて説明を求めた。

担当者から、3者から公示内容について問い合わせがあったが、応募は1者のみであった。今年度は日本公認会計士協会を通じて監査法人等に公示情報の提供を行った。今後についても情報提供方法の更なる改善に取り組みたいとの説明があった。

- ⑤ 会計監査業務や職員等健康診断業務など、信頼性や継続性を要するものは複数年契約にすることを検討することが望ましい。また、契約内容によっては総合評価により落札者を決めることも必要であるとの意見があった。

(2) その他

特になし。